

## 信楽高原鉄道第一大戸川橋梁が 国登録文化財に

信楽高原鐵道に架かる第一大戸川橋梁（信楽町勅旨）が、日本で最初に築かれた本格的なプレストレストコンクリート（PC）橋梁として、国登録文化財となりました。今回の登録は市内で18例目となります。

事の始まりは昭和28年8月、信楽を襲った豪雨でした。大戸川に架かる三連プレートガーター橋であった旧橋が崩れて流されてしまい、それかわる新橋として建設されたのが、橋梁の長さ31メートルのフレッシュ式のポストテンションプレストレスト工法による第一大戸川橋梁でした。

ポストテンションプレストレストとは、強度のあるPC鋼線をコンクリートの中に埋め込み、PC鋼線を圧縮させることによって生じる強固なコンクリート橋のことで、このPC鋼線のコンクリートへの導入によって31メートルの橋脚のない鉄道橋が実現したのです。

問い合わせ

歴史文化財課 調査管理係

☎ 86-8026 ☎ 86-8126



▲列車が走る第一大戸川橋梁

昭和29年9月に仁杉巖博士などの手により、完成をみた第一大戸川橋梁は、本格的なPC鉄道橋として、コンクリート技術者達に大きな期待を与えました。当時鉄筋コンクリート鉄道橋は長さ12・5メートルが限界だったからです。

第一大戸川橋梁の建設に際して行われた様々な実験はその後のPC橋に大きな影響を与え、河川改修に伴う橋梁改良工事や新幹線工事などにも積極的にPC橋が導入されるなど、日本の近代土木に貢献した歴史的建造物なのです。

## 食事をおいしく食べていますか？

介護  
予防  
をはじめましょう

今回は、介護予防について「食べること」を通してのお話です。食事は、栄養を補給する以外にも楽しみや意欲を高めることにもつながります。食材の買い物や調理をすること、仲間との会食などは生活機能を高めることに大いにつながります。

食事の量や回数が減るなどすると、低栄養状態になるおそれがありますが、原因はさまざまです。低栄養状態の原因に関するチェック項目を挙げてみました。

- 歯や口腔、飲み込みの問題がある。
- 下痢が続いたり、下剤を常用している。
- 便秘が続いている。
- 最近入院を経験した。

- 1日に5種類以上の薬を飲んでいる。
- 1日に食べるのは2食以下である。
- 主食（ごはんなど）や主菜（肉、魚などのおかず）を食べる量が減ってきた。
- 牛乳・乳製品をあまりとっていない。
- 毎日、一人で食事をしている。
- 日常的に身体を動かさなくなってきた。
- 自分で（あるいは料理担当者が）食べ物を買いに行ったり食事の支度をするのに不自由を感じている。
- 食べる気力や楽しみを感じない。

気になることがあれば地域包括支援センターにお気軽に相談ください。



問い合わせ

水口地域包括支援センター

☎ 65-1170 ☎ 63-4591

土山・甲賀地域包括支援センター

☎ 88-8136 ☎ 88-6557

甲南・信楽地域包括支援センター

☎ 86-8034 ☎ 86-5974

参考・引用文献／栄養改善マニュアル 栄養改善についての研究班 2006.3 厚生労働省